

(やました・たかし)自由民主党所属。1965年生まれ。東京大学法学部在学中に司法試験に合格。その後、検事として法務省・各地の地方検察庁(東京・鳥取・横浜・盛岡)に、外交官として在ワシントン日本大使館に勤務。2012年初当選。自民党岡山県第二選挙区支部長。



### 中四国経済圏は ベルギーに匹敵する実力

岡山のポテンシャルは全国一だが、本来の経済力のパワーを發揮しきれていないと思っっている。県単位や中国地方としてではなく、中四国として見れば、GDPはベルギー一国に匹敵するほどだ。

岡山の今後の経済発展のためには、企業誘致をしっかりとやっていくことが必要だ。岡山は広

い平地に恵まれているが、休耕地となつている農地もあるため、有効活用できればと考えている。もちろん農地は大事だが、ある程度の規制緩和によって、企業が活動しやすい環境づくりが求められる。

企業が岡山に拠点を構えれば、交通アクセスが良いので、県内の周辺企業だけでなく、四国や京阪神などとのネットワークを結ぶことが可能となる。さらに、瀬戸大橋は新幹線が通れる規格

## 今がまさに 「BUY岡山！」

衆議院議員 山下貴司

なつているため、現在話が盛り上がつている四国新幹線ができた場合、岡山が始発駅になることも期待できるだろう。

これが実現すれば、中四国経済圏の中心として、岡山経済に

大きな発展性をもたらし、

経済界の人たちに申し上げたいのは「BUY岡山」。岡山はまさに今が買いたい時で、進出すれば大きなメリットがあるということをお話したい。

農業に関しては、これまで岡山は全県一体でまとまって何かを行うことが少なかったが、ブランドینگ戦略によって、ブドウや桃、マンゴーといった名産品のロットをもっと大きくすれば、海外への輸出もしやすくなる。

私は現在、党的的財産戦略調査会の役員を務めているが、「おかやま和牛肉」のブランドが地域発の商標になった。こうした地域ブランドをどんどんつくっていくことで、ビジネスチャンスが広がっていくとみられる。